

うにこれを守つたのである。要するに、人より強いものはない。人のみが戦争を決定するものである。吾々はすでに第一流の武器を有して居り、残された問題は唯勇氣、能力、知識の歴史が吾々に課してゐる諸々の課題に對する理解である。二ヶ月後の第二十五回十月革命記念日を吾々は如何なる形で迎へるであらうか。

◎英軍事評論家ソ聯の困難を指摘

チユーリツヒ一日發同盟「當地に達した情報によればスターリングラード攻略の獨軍の進撃速度が緩慢になつてゐることは明白であり、これは攻撃部隊再編成のための緩慢化をみる。冬が近づいてゐることは大いなる意味を持つて居り六週間以内には戦線に寒氣が襲來するであらう。

若し赤軍がスターリングラードを永く持ち耐へうるなら戦局は甚しく赤軍にとつて好轉するであらう。英國ではスターリングラードの赤軍の抵抗に殆んど希望をかけたが、中部戦線のジューコフ軍のルジエフ攻取も距離がありすぎるため危機を教ふに足らないとみてゐる。尙英國の著名な軍事評論家リツデル・ハートは之に關し次の如く述べてゐる。

ジューコフ軍の攻勢の最大の効果は獨軍をして南部戦線に増遣する豫定だつた。獨軍をルジエフ地區に振向けさせようとしたことである。しかし之によつて獨軍のスターリングラードに對する攻撃力が弱まることはないであらう。獨軍がルジエフを失へば獨ソ兩軍の士氣に影響する上獨軍が將來兵力を彌化する場合その障碍にはなるであらうが、この戦線で若年の後退をなしても獨軍は中部戦線で地歩を失ふわけではない。

◎朝鮮臨時政府の承認を米に要請

UPI重慶廿八日發 朝鮮臨時政府は日韓併合卅二周年記念日に當り大西洋憲章の原理を太平洋にも及ぼす様に訴へ、宣言書を発表したがその要旨左の如し

- 一、前大戰後に採用されて不評を買つた委任統治國家制及び國際管理國家制の廢止
- 二、民族自決主義の徹底遂行

三、今次大戦後に來るべき平和會議への朝鮮の参加
四、一九〇〇年以前の舊狀への朝鮮の復歸

更に中國 Y. H. R. A 會長デロージ・フィンチ（ニューヨーク出身）電報派遣使徒レオ・フエリリ師（セント・ルイス出身）等在支著名米人有識者宗教家達はハル國務長官に電報を寄す即時在重慶朝鮮臨時政府を承任するやう訴へ、日本がシベリアを衝く場合には朝鮮は重要な役割を演ずる位置にあることを思へば朝鮮政府を承任する事は今次戦争の決着を早めるものであると述べてある。

右電電次の通り

我々重慶米人グループは日米開戦の三年前から屢々ルーズヴェルト大統領、閣下（ハル長官）、兩院の外交委員會及び全米國民に對して米國が日本に對して對日支戰に利用されるべき武器を供與し、且つ今や日本が米國自身に向つて利用してゐる多量の燃料、鐵、その他の資材を日本に賣つてゐた自らの墓穴を掘るが如き愚行に屢々抗議し來つたのであつた。我々のみならず米本國に於ても或は又國外各地からも同様の抗議は發せられてゐた。しかも米國は今日も亦重大な錯誤を敢て犯さんとする危険に曝されてゐる。茲に連署の全員は閣下（ハル長官）に對して備へてこの事實に注意を喚起せんとするものである。朝鮮三千萬の國民は過去三十年間に亘り日本の侵略の下に苦しんで來たが、米國が日本と交戦状態

に入つた今日、朝鮮はその自由と獨立の承認を米國に訴へ來つたのである。併し或る理由の爲に我々は今日までこの朝鮮の訴へに耳を藉してゐない。若し大西洋憲章が何らかの煮饂飩であるものであるならば、それは當然朝鮮の主權を承認する事をも含まれねばならない。然らずんば同憲章の約束は空語に過ぎぬものとなる。朝鮮の獨立承認は勇敢不屈の數十萬の朝鮮愛國者達の希望を與へその士氣を鼓舞することとなり、日本はその背後に精神上の強敵を持つこととなるのである。かくて朝鮮は聯合國に對して最も得ざる援助を與へ得るし、又物質的にも今次大戦の結末を促進する爲に協力するであらう。況んや日本がシベリア攻撃を開始するが如き場合に於てをやである。事實日本が時機を狙つて對り攻撃の火蓋を切るべく計畫してゐることは疑ひなき所である。今や朝鮮人は日本に對する聯合軍と其の共同の闘争によつて日本の殘虐なる壓制から解放される希望に燃え上つてゐる。茲に我々は次の如く力説するものである。最早在支重慶朝鮮臨時政府承認を躊躇して時間を空費すべき時ではない。それは同政府の當然の權利であり、又聯合國にとつても有利なものである。我々は時機を失するの愚を繰返してはならない。



海外特殊情報 第二十九號

昭。一七。九。八火
情報局第一部第二課

◎米婦人動員愈よ本格化

トランス。ラジオオリワシントン四日發

マクナット戰時人的資源委員長は戰時産業に多數の婦人労働者を動員すべき事を強調左の如く言明した。

十八歳から四十四歳の主婦の中四人に一人乃至三人に一人は戰時産業に従事せしめられることとなり。右情勢に鑑み余は今回婦人労働者の訓練及び動員を含む諸問題乃至政策を考慮すべき委員を任命した。全面的戰時生産の實行に際して多數婦人労働者の参加は是非とも必要である。尙昨年十二月における戰時生産各部門の婦人雇傭者数は百四十萬人であつたが、本年十二月には一躍四百五十萬人となり、更に一九四三年末には六百萬人に上る見込みである。その時には戰時生産各部門の擁する労働力の少くとも三〇パーセントは婦人によつて代表されることとなり。